

## Lesson50

### 謙讓語

- 1・描写自己的状況、動作時
- 2・向家人以外的人叙説自己家人時
- 3・叙説屬於自己所属的団体時（会社、友達等団体。。也包括於自家族ウチ）

（ウチ→<sup>けんじょうご</sup>謙讓語・ソト→<sup>そんけいご</sup>尊敬語）応區別使用

例)

①

A: お母<sup>かあ</sup>さんは いらっしゃいますか。(尊敬語／います→いらっしゃいます)

B: 母<sup>はは</sup>は ちょっと 出<sup>で</sup>かけて おります。(謙讓語<sup>けんじょうご</sup>／います→おります)

②A→A 会社(職員) B→B 会社(佐藤の部下)

A: 佐藤部<sup>さとうぶちょう</sup>長は いらっしゃいますか。

B: 佐藤<sup>さとう</sup>は 今日<sup>きょう</sup> 本<sup>ほん</sup>社<sup>しゃ</sup>へ 行<sup>い</sup>って おりますが。。。支店<sup>してん</sup>

ウチ	ソト
家族	ご家族
ちち 父	とう お父さん
はは 母	かあ お母さん
あに 兄	にい お兄さん
あね 姉	ねえ お姉さん
おとうと 弟	おとうと 弟さん
いもうと 妹	いもうと 妹さん
むすこ 息子	むすこ 息子さん
むすめ 娘	むすめ 娘さん

しゅじん おっと 旦那<sup>だんな</sup>      しゅじん      だんなさま  
主人・夫・旦那      ご主人      旦那様

## ウチ                      ソト

かない つま  
家内・妻

おく おくさま  
奥さん・奥様

たなか  
田中

たなか さま  
田中さん・様

みんな

みな みなさま  
皆さん・皆様

かいしゃ もの  
会社の者

かいしゃ かた  
会社の方

みつ すみとも ぎんこう かた  
(三井住友銀行の方)

- ① 為了表達對對方的尊敬而降低自己的地位・立場時、使用以下的特殊謙讓語動詞來敘述自己的動作或事情  
例)

きのう せんせい たく うかが ほうもん  
→昨日 先生のお宅に 伺 いました。(行きます・訪問します) ↓聞く

そして、しょくじ いただきながら、せんせい はなし うかが  
そして、食事を いただきながら、先生のお話を 伺 いました。

→そのことは きのう かいちょう もう あ  
→そのことは 昨日、会長に 申し上げました。言う訴説 ○○ゼミ

せんしゅう てんらんかい たなかせんせい か え はいけん  
→先週、展覧会で 田中先生のお書きになった絵を 拝見しました。

→それでは、あした くじ こちらに まい  
→それでは、あした 9時に こちらに 参ります。来ます→参ります

→わたくしは あした いちにちじゅう  
→わたくしは 明日は 一日中 うちに おります。います→おります

ちち にちようび さんぽ いた  
→父は 日曜日に いつも 散歩を いたします。します→致します

→はじめまして、たなか もう ねが いた  
→はじめまして、田中と 申します。どうぞ よろしく お願い致します。

→うちの しゃちょう たく しゃちょう もう  
→うちの社長が お宅の社長に よろしくと 申して 参りました。

せんせい か し あね くに も  
→先生、このお菓子は 姉が 国から 持って まいりました。

来ます→参ります

注意！

※没有必須要表示敬意的対象・对方時、不使用敬語

(×) 私は きのう 銀座で 映画を 拝見しました。

(○) 私は きのう 銀座で 映画を 見ました。

(O) 私は 先生のお手紙を 拝見しました。

※ 補助動詞 → 謙讓恭敬的動詞形式

V-て います → V-て おります

V-て きます → V-て まいります

V-て いきます → V-て まいります

② 為了表達對對方的尊敬而降低自己的地位・立場時、使用表示謙恭的形式。

用於表示為對方而進行的行為

お + V-(ます形) + します

お + V-(ます形) + いたします

ご + N (V-Ⅲ名詞) + します

ご + N (V-Ⅲ名詞) + 致します

例)

→ A: 先生、おかばんを お持ちします。 N3p. 116

B: ああ、Aさん、ありがとう

→ 私 は わたし けっこんしき しゃしん せんせい おみせ しました。

→ 店 員: では、修 理が できましたら、おしらせ いたします。

きゃくさま  
お 客 様: はい、じゃ、よろしく。

→ A: 先生、ぜひ たいぺい 台北に いらっしゃって ください。

あに あんない  
兄 が ご案内 いたします。

B: まあ、ありがとう。

※ 沒有必須要表示敬意的對象・對方時、不使用敬語

(×) 私は 夜1人で CD を おかけして お聞きます。

(O) 私は 夜1人で CD を かけて 聞きます。

(O) 先生、CD を おかけ しましょうか。

CD ・ おんがく  
音 楽 を かけます。

※ 漢語 → ご 名詞 します。  
ご 名詞 いたします。

→ 先生がタイへいらっしゃったら、私 がいろいろな 所を ご案内 します。

ご案内 いたします。

→これから、この機械の使い方を ご説明 します。

これより ご説明 いたします。

※ 丁寧語

名詞 です → 名詞 で ございます

名詞 が あります → 名詞 が ございます

例)

→こちらは コーヒーでございます。

こちらは ご注文 なさった スパゲッティ で ございます。

サンドイッチ で ございます。

表示客気意義的特殊V「ございます」經常用於商店、車站、飯店等以顧客聽話人場合和服務の場合。

例) 案内 係の

→田中で ございます。どうぞ、よろしく お願い いたします。

→次は 新宿、新宿 で ございます。

→A：このシャツ、Lサイズは ありますか。

B：はい、ございます。少々 お待ち ください。

(あります)

すみませんが。。(残念ですが) ございません。(ありません)

※ 謙讓語也經常作為礼貌語 (丁寧語) 用

例)

駅の放送→まもなく (梅田行き) の 電車が 参ります。

あいさつ<sup>あいさつ</sup> 挨拶 → 寒<sup>さむ</sup>く なって まいりました。(V-て来(き)ました。)

むかし<sup>むかし</sup> 昔 (過去) → 今<sup>いま</sup>

※ 

お ~ 、 ご ~
-----------

※ 対方的行為、事物（お手紙）**與對方有關的事物**、形容詞、副詞前  
加上「お、ご」表示尊敬、客氣。

例) お元氣でしょうか。

→ 先生<sup>せんせい</sup>、ご家族<sup>かぞく</sup>の皆<sup>みな</sup>様<sup>さま</sup>は お元氣<sup>げんき</sup>ですか。

→ この部屋<sup>へや</sup>に あるものは どうぞ ご自由<sup>じゆう</sup>に **お**使<sup>つか</sup>いください。

(寮<sup>りょう</sup>・宿<sup>しゆく</sup>舎<sup>しゃ</sup>) (意味：もらってもいい) **お**取<sup>と</sup>りください。

→ 田中<sup>たなか</sup>さん、お宅<sup>たく</sup>の皆<sup>みな</sup>さんは いつも お忙<sup>いそが</sup>し**そう**ですね。様態

→ どうぞ、ごゆっくり お休<sup>やす</sup>み ください。(バスタオル)

※ 

お V です
--------

V-て いらっしゃいます

&

おVに なります的**簡潔**說法

例)

かいきつぐち<sup>かいきつぐち</sup> 改札口にて **お**持<sup>も</sup>ちでしょうか。

かいきつぐち<sup>かいきつぐち</sup> 改札口で → お客<sup>きやく</sup>様<sup>さま</sup>、特急<sup>とっきゅう</sup>券<sup>けん</sup>を **お**持<sup>も</sup>ちですか。

かいちょう<sup>かいちょう</sup> 会長、さき<sup>さき</sup> 先ほどから、田中<sup>たなか</sup>様が **お**待<sup>ま</sup>ちです。

しゃちょう<sup>しゃちょう</sup> 社長、なに<sup>なに</sup>を **お**探<sup>さが</sup>しですか。

→ お客<sup>きやく</sup>様、何を **お**探<sup>さが</sup>しですか。お伺<sup>うかが</sup>いいたしましょうか。

いいえ、けっこうです。(いいです)

はい、お願いします。